

労働移動分析における測定バイアスの可能性について：要旨

伊佐勝秀 (西南学院大学経済学部)

A. Shorrocks (Shorrocks (1978)) によって提唱された移動指数 (Shorrocks 指数) は、単純だが優れた特性を有する指数として、地域間移動を始めとする様々な移動の測定に用いられている。しかしながら、この指数が持つ潜在的なバイアスに関しては、ほとんど注意が払われてこなかった。本論文では、

1. 集計バイアス
2. 除外カテゴリー・バイアス
3. 次元バイアス

の3種類のバイアスを取り上げ、理論的・実証的に検討する。その上で各バイアスの数値例と、日本の都道府県間移動に関するデータを用いた実証例を提示する。得られた結果からは、特に移動が地域間で不均等に生じている場合には、データの利用可能性や測定単位の選択が分析結果に大きな影響を及ぼすことが示唆される。